

概要	○ 令和4年11月19日（土）、宮崎県新富町に所在する養鶏場（約16万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、20日（日）0400、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定 ○ 20日（日）0700、陸上自衛隊第43普通科連隊長（都城駐屯地・宮崎県都城市）は、宮崎県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理 ○ 20日（日）0700より、陸上自衛隊第43普通科連隊を基幹とする対処部隊が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施 ○ 20日（日）2245、自衛隊実施分について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、陸上自衛隊第43普通科連隊長は宮崎県知事から災害派遣撤収要請を受け、活動を終了
活動部隊	○ 陸上自衛隊 第43普通科連隊（都城）、航空自衛隊 第5航空団（新田原基地・宮崎県児湯郡新富町）
活動態勢	○ 約200名態勢（24時間態勢で、約16万羽のうち、自衛隊は約6万羽、自治体は約10万羽を担当）
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援等



活動状況

駐屯地出発準備

殺処分等の支援